

- [スキップする](#)
- [スキップする](#)
-

Cookie（クッキー）について

本サイトは、サイトの利用状況を把握するために**Google Analytics**を利用しています。

Google Analyticsは、**Cookie**を利用してご利用者の情報を匿名で収集し、個々のご利用者様を特定することなくウェブサイトの動向データを集計します。

Google Analyticsの概要については[Google Analytics のサイト](#)をご覧ください。

当社は、**Cookie**によってご利用者様のお名前、電話番号、住所などの個人情報を取り扱うことはございません。



- [お問い合わせ](#)
- [AZネットワーク](#)
- [グローバルサイト](#)

検索

- [アストラゼネカとは](#)
 - [アストラゼネカとは](#)
 - [会社案内ムービー](#)
 - [会社概要](#)
 - [沿革](#)
 - [事業所](#)
 - [投資家向けリンク集](#)
 - [働きがいのある職場](#)
- [サイエンスで未来へ](#)
 - [サイエンスで未来へ](#)
 - [社員が語る「私たちのサイエンス」](#)
 - [開発パイプライン](#)
 - [研究所](#)
 - [パートナーリング](#)
- [企業責任](#)
 - [サステナビリティ](#)
 - [情報公開について](#)
 - [倫理規範とグローバルポリシー](#)
 - [取引先との関わり](#)
 - [貢献活動（寄附）](#)
- [ワクチン](#)
 - [ワクチン](#)
 - [報道関係者の皆様向け COVID-19ワクチン関連情報](#)
 - [報道関係者の皆様向け COVID-19ワクチン関連写真・動画素材](#)
- [患者・一般の皆様](#)
 - [患者・一般の皆様](#)
- [医療関係の皆様](#)
 - [医療関係の皆様](#)

- [研究者・企業の皆様](#)
 - [研究者の皆様](#)
 - [i2.JP](#)
 - [オープン・イノベーション・プラットフォーム](#)
 - [Externally Sponsored Research](#)
 - [FAQ](#)
- [採用情報](#)
 - [採用情報](#)
 - [オフィスツアー](#)
- [プレスルーム](#)
 - [プレスルーム\(報道関係者向け\)](#)
 - [お知らせ](#)
-

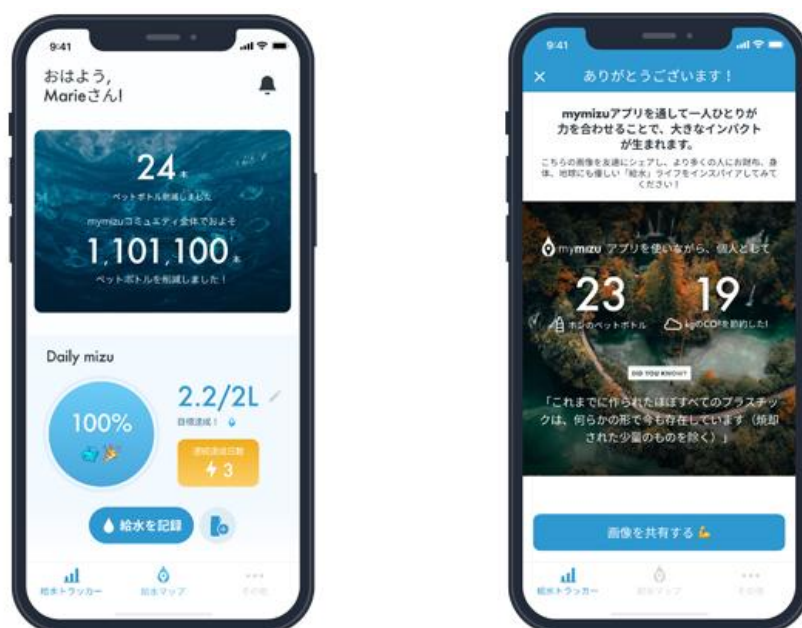
アストラゼネカ、同社従業員が参加する「mymizuチャレンジ」を実施

公開日2021年 9月 17日

～ ペットボトルの削減量やCO2削減量をアプリで可視化し、
社員の環境へ配慮する意識向上へつなげる ～

アストラゼネカ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：ステファン・ヴォックスストラム、以下、アストラゼネカ）は、本日より、同社および関連会社の従業員・家族を対象に「mymizuチャレンジ」を開始します。「mymizuチャレンジ」の実施を通じて、社内外で使い捨てプラスチック削減を推進し、社員一人ひとりの環境へ配慮する意識向上につなげていきます。

「mymizuチャレンジ」は一般社団法人Social Innovation Japanのプロジェクトであるmymizuが提供するアプリの専用ダッシュボードを使って、ペットボトル飲料の代わりにリユース可能なマイボトルやコップで飲み物を飲んだことを記録し、チームまたは個人でペットボトル削減の最大化にチャレンジする取り組みです。自宅や会社の水道水やウォーターサーバー、アプリ上にある給水スポットなどで給水したことを記録します。アプリで記録することで、ペットボトルの削減量やCO2削減量を可視化できます。「給水」という行動の記録を通じて、今までカウントしたことがなかった行動を意識化し、社員が社内外での行動を通じて、環境保護に貢献できる機会がまだ多くあることを感じられるチャレンジとなっています。アストラゼネカにおける「mymizuチャレンジ」の実施期間は、2021年9月17日から10月15日です。



アストラゼネカは2020年1月に、グローバル全体で2025年までに事業からの二酸化炭素排出量ゼロを目指すプログラム「アンビション・ゼロカーボン」を宣言しており、宣言達成のための一つの取り組みとして使い捨てプラスチックの削減「Remove、Reduce、Reuse、Recycle」プログラムに着手し実施しています。日本でも、2019年より大阪本社、東京支社、米原工場の自動販売機からペットボトルを撤去し、給水サーバーを設置、2021年には大阪府との包括連携協定を締結し、「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」に賛同し、マイボトルの利用推進を行っています。一方で、社員それぞれの日常生活においてペットボトルをゼロにするのはまだまだ難しいのが現状です。日本国内で、2019年度のペットボトル販売本数は245億本といわれ、年間一人あたり194本2のペットボトルを消費している計算となります。

アストラゼネカでは「mymizuチャレンジ」を通じて、従来から取り組んできたペットボトルをはじめとする使い捨てプラスチックゴミ削減のための行動変容を促進し、社員の環境保全意識を高めてもらうためのきっかけとしています。

以上

mymizuについて

mymizuとは、ペットボトルの消費量を削減し、世界中の環境の持続可能性を実現するための活動を推進することを目標に掲げるプラットフォームであり、非営利型一般社団法人 [Social Innovation Japan](https://www.socialinnovationjapan.com/) から生まれた取り組みです。世界中のカフェや公共施設、その他約20万箇所の無料で給水ができる場所を探せる「mymizu アプリ」をはじめ、サーキュラーエコノミーを実現させるために企業や団体、自治体と共同で環境に責任を持つ商品やサービスの開発、コンサルティングサービスを行っています。その他、様々な大学や学校などと環境問題に関するワークショップの開催、コミュニティと共にビーチクリーンの活動なども行っています。2020年には「環境大臣賞」を受賞し、日経クロストレン드의「未来の市場をつくる100社」としても取り上げられました。

<https://www.mymizu.co/>

アストラゼネカについて

アストラゼネカは、サイエンス志向のグローバルなバイオ・医薬品企業であり、主にオンコロジー、希少疾患、循環器・腎・代謝疾患、呼吸器・免疫疾患からなるバイオ・医薬品において、医療用医薬品の創薬、開発、製造およびマーケティング・営業活動に従事しています。英国ケンブリッジを本拠地として、当社は100カ国以上で事業を展開しており、その革新的な医薬品は世界中で多くの患者さんに使用されています。詳細については <https://www.astrazeneca.com> または、ツイッター [@AstraZeneca](https://twitter.com/AstraZeneca)（英語のみ）をフォローしてご覧ください。

日本においては、主にオンコロジー、循環器・腎・代謝、および呼吸器・免疫を重点領域として患者さんの健康と医療の発展への更なる貢献を果たすべく活動しています。アストラゼネカ株式会社については <https://www.astrazeneca.co.jp/> をご覧ください。

Reference

1. PETボトルリサイクル推進協議会調べ <https://www.petbottle-rec.gr.jp/nenji/new.pdf>
2. 総務省統計局より、2019年の総人口を1億2,600万人として算出 <https://www.petbottle-rec.gr.jp/nenji/new.pdf>

astrazeneca.co.jpを離れます。

リンク先のサイト内容については、
それぞれのお問い合わせ先にご連絡ください。

[?](#)

重要なお知らせ

あなたは、アストラゼネカのアーカイブ資料にアクセスしようとしています。
これら製品またはご使用についてのいかなる資料も、最新の医学知識・情報が反映されているとは限らず、現行製品における情報の根拠として参照すること、また有効性や安全性が保証されたデータとして使用することはできません。現行の製品の情報については、承認を受けているNational Product Label(SmPC)を参照してください。

私は、上記の警告メッセージを理解した上で、アーカイブ資料に含まれる製品情報を医療的な目的で使うことはありません。

[?](#)

[?](#)